

## 1月定例山行 裏高尾山行報告書

(山域) 裏高尾 (生藤山～陣馬山)

(コース) 井戸～三国山～生藤山～醍醐丸～和田峠～陣馬山～陣馬登山口

(日時) 1月21 (土曜日)

(天候) 晴れ (風強し)

(参加者) CL : 内堀 (記録)・SL : 吉瀬・菅井・滝本・三輪・加藤・小宮山・木下  
(山行タイム)

井戸バス停 9:10～三国山 10:30～生藤山 10:40～醍醐丸 12:35～和田峠 13:05～  
陣馬山 14:00～陣馬登山口 15:25

(山行報告)

今回の定例山行は公共乗り物で行く定例山行であり、上野原駅 8:25 着の電車に乗り込むことで計画。上野原駅を降りると全員揃っていた。今回初参加の木下さんも無事見付き、全員で井戸行バスに乗り組む。途中、北斜面は雪が表れている。終点で降りて各々、出発準備を進める。全員整った所で出発する。車道を歩き軍刀利神社入り口を右側に進み奥ノ院を過ぎて、登山道が表れる。三国山・生藤山までの登りは北斜面のため、昨日の雪ではなく1-2W前に南岸低気圧で降ったと思われる雪が付いていた。それでも道は歩きやすく安全ルートのため、そのまま、登ると三国峠到着、そのまま進み、三国山・生藤山に到着する。ここで、休憩を入れる。他のパーティはソロで二人と少ない。生藤山山頂は風がかなり強く吹いており、高い山に行った方は大変だなーと思った。生藤山からの富士山は圧巻であった。大きく雄大に見える。

ここからは、上り下りのアップダウンを繰り返しながら進む。下りは南斜面のため、日当たりが良く雪は付いていない。持って来た軽アイゼンは使用することなくアップダウンを繰り返しながら進むと、醍醐丸に到着する。ここからは和田峠まで一気に下る。風が抜ける場所以外は樹林帯のため、風の影響は受けずハイキング日和である。和田峠にて長い休憩 (昼食タイム) とする。休憩中、団体と思われる方々が下りてきてマイクロバスにて帰る予定である。ここまでバスが来るとは？・・・トホホ歩きがあまりにもなさすぎませんか？

または高尾から歩いてきたのかな？ 靴が汚れていません。何処からは入ったのか？ 休憩後は、陣馬山に向かう。山頂到着時間を見ると 14:00 のため、奈良子峠・明王峠に行くことを断念して、最短コースの栃谷尾根を進む。陣馬山頂は風が強く記念撮影のみの滞在となった。陣馬山はコンクリートでできた馬の像が象徴的であり、一目で判ってしまう。裏高尾で一番の眺望である事は間違いなさそうである。栃谷尾根は雪もなく、順調に下山する。間に合わないかと思ったバスであったが、最後は少し巻いて陣馬登山口バス停に到着する。新入会の木下さんも体力が余っているせいか遅れることもなく順調であった。バスの待ち時間を利用してトイレ休憩を取り時間を潰した。他のパーティは藤野駅まで歩いていた人達がいた。結局バスに追い抜かれたようである。バスに乗り込む時にはかなりの登山客が、いつの間にか降りて来ていて、バスに乗り込んだ。藤野駅では駅前の売店で酒を購入して、電車の中で酒盛りを行ってしまった。前にいた外人は怪訝そうに我々を見ていた。加藤さんは翌日、友人と会うため高尾駅でお別れした。その他メンバーは久々の電車移動のため、津田沼駅まで向かい、残り七名で軽く宴会を行い本日の山行に花を咲かせ、盛り上がっていた。津田沼駅を後に全員、家路に向かった。





以上